

令和元年度 東京都・港区合同帰宅困難者対策訓練について

東京都は、港区と合同で下記のとおり帰宅困難者対策訓練を実施しました。

1 訓練名

令和元年度 東京都・港区合同帰宅困難者対策訓練

2 実施日時

令和2年2月4日（火） 午前10時から正午まで（普及啓発ブースは午後2時まで）

3 訓練実施場所

品川駅及びその周辺

4 目的

東京湾北部を震源とする首都直下地震（マグニチュード7.3）により、品川駅周辺に外国人観光客を含む多数の帰宅困難者が発生したとの想定で、都、区、各防災機関が連携して駅周辺の混乱防止や安全確保に取り組むなど実践的な訓練を実施

5 主な訓練項目

（1）利用者の保護

- ・品川駅、商業施設における利用者（外国人含む）の保護
- ・協議会による品川駅周辺の滞留者への支援

（2）一斉帰宅の抑制

- ・企業における従業員の施設内待機
- ・災害用伝言板等を活用した従業員とその家族の安否確認

（3）一時滞在施設

- ・民間事業者による一時滞在施設の開設、運営

（4）帰宅支援

- ・災害時帰宅支援ステーションの開設
- ・バスによる要配慮者の埼玉県（所沢市）への搬送

（5）普及啓発ブース

- ・関係機関の展示等による防災対策、帰宅困難者対策についての普及啓発

6 参加団体等

- 主 催：東京都、港区、品川駅周辺滞留者対策推進協議会
- 参加団体等：鉄道事業者、品川駅周辺事業者（商業施設、一時滞在施設）、通信事業者、品川区、埼玉県ほか
- 特別協力：東京商工会議所

7 訓練規模

- 訓練参加者：約1,600名

8 訓練の様子



シェイクアウト・利用者の保護
【品川駅（JR 東海）】



協議会による情報収集・整理・提供
【品川駅（滞留者支援本部）】



一時滞在施設への移動
【こうなん星の公園】



帰宅困難者の受入れ
【一時滞在施設（品川シーズンテラス）】



バスによる要配慮者の搬送
【品川駅⇒埼玉県】



起震車による地震体験
【こうなん星の公園】